

中小企業の 生産性向上のための支援

～コロナに負けないよう収益力向上・業務改善に取り組みましょう～



少子高齢化が進み生産年齢人口の減少により人材確保が難しい中、中小企業において労働生産性の向上は、かねてからの課題でした。さらに、新型コロナウイルス感染症拡大により社会経済の停滞は、多くの中小企業に影響が及んでおり、これから“withコロナ”のもと環境変化に対応し、事業の存続のためにも生産性向上への取り組みが重要視されています。

今回の特集では、福岡県中小企業生産性向上支援センターのご協力の下、中小企業の実業の生産性向上のための支援、特にものづくりの分野を中心とした業務改善や収益力向上に繋がる支援についてご紹介いたします。

福岡県中小企業生産性向上支援センターとは

県内雇用の80%を占める中小企業が将来に渡り直面する生産性課題に対応するため、企業診断から業務プロセスの改善や設備導入まで一貫した支援を行う、全国初の取り組みとして福岡県が昨年9月に開設し活動しています。

生産性課題の解決には、現場に強いプロの目が有効です。当センターでは、県内に本社又は主たる事業所をお持ちの二次、三次産業の中小企業を対象に、多様な事業で実務&指導経験を持つ専門家が、現地現物で伴走して改善・改革を進め、成果の実現とその定着まで無料で支援します。

1. 県内中小企業を取り巻く環境と課題

新型コロナウイルス感染症の影響は企業の規模・業種に関わらず広範に及んでいます。withコロナのもと、当面は、事業存続に向けた収益改善や業務改革などの収益力強化や、需要変化に対応した事業改革を急がねばなりません。

県内の労働力不足

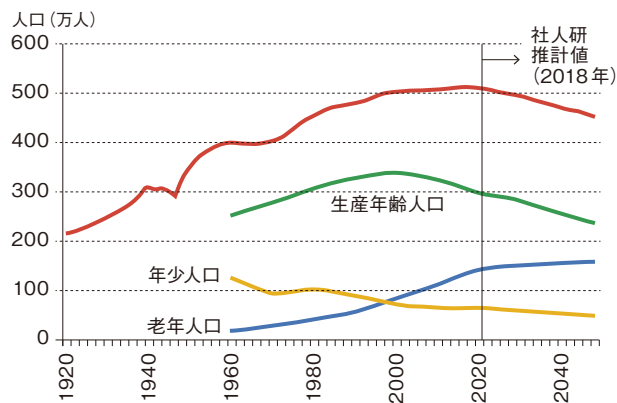
長期的にみると、今後、少子高齢化の進展により県内生産年齢人口が減少する中、来るべき労働力不足に対応するために労働生産性の向上がより重要になってきます。(図1)

中小企業の実業性

わが国の労働生産性はOECD加盟35か国中第21位、生産性上昇率は第22位と低く、中でも国内中小企業の実業性は大企業に比べ、更に低いのが現状です。(図2)

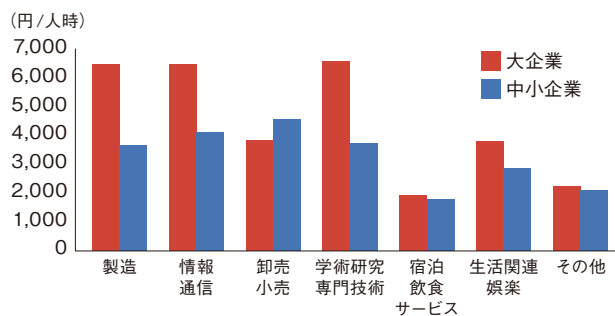
以上から、生産性向上を軸にした収益力強化と魅力ある企業づくりに向けた大きな変革が今こそ求められます。

■図1 福岡県の総人口、年齢別人口の推移



資料：総務省「国勢調査」、「人口推計」(1994年以前)、福岡県「福岡県の人口と世帯年報」(1996年以降)、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年3月推計)」

■図2 企業規模別時間当たりの労働生産性の水準



資料：経済産業省「企業活動基本調査」、厚生労働省「賃金構造基本統計調査」再編加工

2. 生産性向上とは

生産性とは、労働や設備、原材料などの投入量（コスト）と生み出される産出量（売上）との割合で、生産性が向上すれば今より少ないコストで効率よく利益を生み出すことができます。

生産がよりスリムになることで安全・環境・品質の向

上、現場改善文化の醸成、リードタイム短縮などの効果をもたらし、競争力を高めることができます。

更に、余力を生かし、売り上げ拡大や新技術・新商品開発、事業拡大など将来に向けた戦略的経営も可能になります。

3. 企業の実情と課題に応じた支援状況（生産性向上の5つの切り口）

小規模な企業は「納期遅れを何とかしたい」「属人的なノウハウをチーム内で共有したい」など単一課題の支援の要望が多いので、それに沿って支援しています。支援企業の実情に応じ、足元固めからチャレンジまで、次に示す5つの課題領域での支援を進めています。（図3）

■図3 5つの課題領域と支援事例

① 作業環境の改善

必要な物はより近く、そうでない物は思い切って整理。
作業現場をシンプルスリムにする事でミスや不良品、正常／異常を発見しやすくなります。

【金属加工製造会社の例】
5S（※）で作業工数を大幅低減



Before：探す、手間取る



After：定位置・定量、手元化

② 社員の意識改革

課題解決は一人ではできません。
現場とトップが一体となって問題を取り上げ、改善する職場文化を作ります。

【ウレタン部品製造会社の例】
現場の声を集め作業分析、全員で改善→作業工数の大幅低減とラインコンパクト化を実現



Before：通路にはみ出し



After：コンパクトにインライン化

③ 作業・プロセス改革

人（作業員）・モノ（製品）・情報の流れを把握し、整理します。

共通化、入替え、標準化、縮減、廃止など思い切って見直します。
ちょっとしたツールの活用やシステム化が有効です。

【天然由来オリジナル美容液製造・販売会社の例】

原料のこだわりで顧客増加も、人手不足で対応が困難・ネックの液注入設備を増設（補助金活用）→
現有人員で売上げ20%増、更なる販路拡大も視野に



美容液注入設備

④ 自動化・IoT

人手不足の解消、生産量のアップには自動化が有効です。
ロボットやカメラ、センサーを組み合わせたシステムの導入。更に、IoTを活用し、品質・稼働管理につなげます。
導入にあたっては、費用対効果の事前検証が重要です。

【プラスチック部品製造の例】

自動車部品生産拡大の中、高機能成型部品の量産を受注。人手不足の中、増員なしで実現を計画→ロボットとカメラを導入し、検査・箱詰めを一貫自動化→現在、夜間無人運転を実現し量産トライ中



Before：人手で検査・箱詰め



After：無人運転

⑤ スタッフ業務改善・IT活用

ムダは事務オフィス、店舗バックヤード、スタッフ間接業務にも見つける事ができます。

情報を共有化、作業の標準化や統廃合とRPAなどITツールを活用し、作業手順を大幅に減らし、リードタイム短縮につなげます。

【建設業向けコンサルティング業の例】

まず、業務フローを整流化し、帳票の簡素化などの改善に着手→総作業時間の半減の見通し→更にRPA（Robotic Process Automation）の活用も構想中

※5S…整理・整頓・清掃・清潔・躰のこと

支援企業経営者からのコメント

〈A社〉10年前にも3M(ムダ、ムラ、ムリ)改善を掲げたが、スローガンで終わってしまっていた。今回の生産性向上活動では、最初はどのように進めていけばいいかわからない状況だったが、アドバイザーから具体的で効果的な提案を数多くもらいながら進め、現場がシンプルスリムになり活力を得ることができた。

支援終了後も、改善が自立的に回り始めており、タブレットを現場に配置し、各現場間だけでなく事務方のバックヤードとも情報共有を進めるICTにも取り組み始めている。

若手社員からもどんどん改善提案の声が上がるようにな

り、若手をチームリーダーへ抜擢するなど組織も変わってきている。

〈B社〉現場係長に密着していただき、その人の仕事ぶりを観察していただいた結果、指揮命令する場面で遠慮を捨て、チームで対応できるようになった。やはり、第三者の立場で指摘、指導を受けることは有益だと思う。

生産能力が不足し、お客様に応えきれていなかったところ、ネックとなる工程を突き止め、効果的に設備増強を進めたことで、人手を増やさず、売り上げを20%向上でき、お客様に喜んでいただけた。

4. 福岡県中小企業生産性向上支援センターの支援の進め方

1) 支援の流れ (図4)

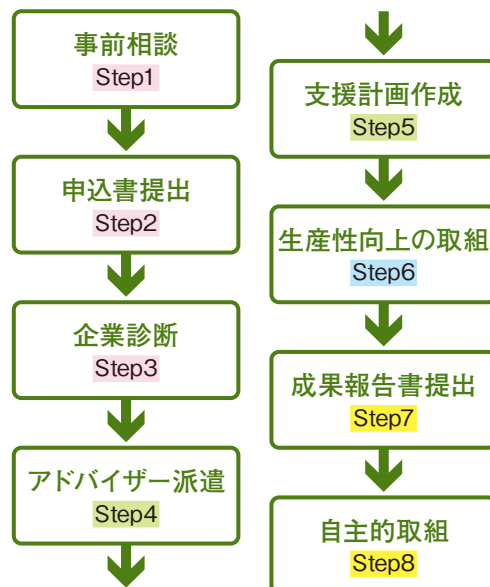
- まずは、お電話か「お問い合わせ」フォームからご相談ください。ご利用が決まりましたら、ホームページから「申込書」をダウンロードし、必要事項をご記入のうえご提出ください。診断スタッフ(中小企業診断士)が企業を訪問し、課題の抽出と収益財務状況を確認します。(Step1~3)
- 生産性アドバイザーが数回の訪問を通じて現状把握・分析を行い、解決案を検討し「生産性向上支援計画書」を企業と策定します。(Step4, 5)
- その後、主体的に改善・改革に取り組んでいただき、アドバイザーが伴走支援します。(Step6)
- 成果が確認できましたら、共に「成果報告書」をまとめ、支援は一旦終了となります。その後は企業に成果を維持向上いただきますが、状況や求めに応じ随時支援します。(Step7, 8)

2) 資金面での支援制度

支援の過程で設備や治具・器具の導入が有効と判断した場合、県が創設した次のような制度の活用を紹介し、実現を後押しします。

- ◆福岡県中小企業生産性向上設備導入支援補助金
- ◆福岡県中小企業融資制度「経営革新資金」(生産性向上型)

■図4 支援の流れ



【センター長からのコメント】

センター開設から1年がたち、これまで100を超える企業・協同組合からお申し込みいただき、そのうち10企業は支援完了し、成果を得るに至っています。厳しい環境が続く中、それでも明日に向かって体質改善を目指している企業に敬意を表し、当センターの利用を通じ、笑顔になっていただきたいという思いでアドバイザーは日々、活動しています。

今後も、企業それぞれの環境、営みに合わせ、経験を生かし課題に則した支援を心がけ、多くの企業が支援を通じ生産性を高め、余力が生まれたその先に、売上げの拡大や新商品開発へのシフトなど事業の発展を目指していきます。

ものづくりやサービスの現場の困りごとをお持ちの企業は、ぜひ声をお掛けください。



安松センター長

生産性向上に係る課題を抱えている企業は、まずは気軽にご相談ください。

お問い合わせ／福岡県中小企業生産性向上支援センター (住所：福岡市博多区吉塚本町13-50 福岡県吉塚合同庁舎1階)
<https://www.f-seisanseikojo.jp> E-mail : info@f-seisanseikojo.jp TEL 092-292-8890



県の補助金制度のご案内

福岡県中小企業生産性向上設備導入支援補助金

生産性向上のための設備投資

自動化・IoT装置、治具・器具等の導入を支援します。

対 象	福岡県中小企業生産性向上支援センターの生産性アドバイザーによる支援を受けている中小企業等。
補助上限	自動化・IoT装置：1,000万円（応援補助の場合1,500万円） 治具等：150万円（応援補助の場合225万円）
補助率	1/2以内（応援補助金の場合は3/4以内）
期 間	令和3年2月9日（火）12:00まで（センター支援締切：令和3年1月8日（金）12:00まで） ※補助金の交付決定額が予算額に達した時点で募集を終了します。
補助対象期間	交付決定の日から令和3年3月10日まで

お問い合わせ先／福岡県商工部中小企業技術振興課人材育成支援係 TEL 092-643-3433

詳細は
こちら



生産性向上に活用できる国の補助金制度のご案内

生産性革命支援補助金

ものづくり・商業・サービス補助金

中小企業・小規模事業者等が今後複数年にわたり相次いで直面する制度変更（働き方改革や被用者保険の適用拡大、賃上げ、インボイス導入等）等に対応するため、中小企業・小規模事業者等が取り組む革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等を支援するものです。

※新型コロナウイルスの影響を乗り越えるために前向きな投資を行う事業者に対して、通常枠とは別に、補助率を引き上げ、営業経費を補助対象とした「特別枠」を設け、優先的に支援します。さらに、業種別のガイドラインに基づいた感染拡大予防の取組を行う場合は、定額補助・上限50万円を別枠（事業再開枠）で上乗せします。

※特別枠では、広告宣伝・販売促進費も補助対象となります。

※事業再開枠では、令和2年5月14日以降に実施した取組まで遡って経費を補助します。

	通常枠	特別枠
対 象	中小企業・小規模事業者 等	
補助上限	原則1,000万円	
補助率	中小1/2 小規模2/3	(類型A) 2/3 (類型B又はC) 3/4 ※事業再開枠（特別枠の上乗せ） 上限50万円・定額（10/10）
申込期限	令和3年2月予定（5次締切）	

〈想定される活用例〉

- 部品の調達が困難となり、自社で部品の内製化を図るために設備投資を行う
- 感染症の影響を受けている取引先から新たな部品供給要請を受けて、生産ラインを新設・増強する
- 中国の自社工場が操業停止し、国内に拠点を移転する

ものづくり・商業・
サービス補助金HP



お問い合わせ先／ものづくり補助金事務局

TEL 050-8880-4053（10:00～17:00（土日祝日除く））

IT導入補助金

中小企業・小規模事業者等が自社の置かれた環境から強み・弱みを認識、分析し、把握した経営課題や需要に合ったITツールを導入する経費の一部を補助し、業務効率化・売上アップといった経営力の向上・強化を支援するものです。

※特別枠に限り、ソフトウェアを利用するために必要になるハードウェア（PC、タブレット端末など）についても、ソフトウェアと併せて導入する場合にそのレンタル費用も補助対象とする。

※特別枠では、令和2年4月7日以降の契約まで遡って補助します。

※通常枠でも、テレワークの導入に取り組む場合は、審査において加点。

	通常枠	特別枠
対 象	中小企業・小規模事業者 等	
補助上限	30～450万円	
補助率	1/2	(類型A) 2/3 (類型B又はC) 3/4
申込期限	令和2年12月下旬予定	

〈想定される活用例〉

- 中小企業等が行う、バックオフィス業務の効率化や新たな顧客獲得等の付加価値向上に資するITツール等を導入する

IT導入
補助金HP



お問い合わせ先／サービス等生産性向上IT導入支援
事業事務局ポータルサイト

TEL 0570-666-424（9:30～17:30（土日祝日除く））